

1. 会合名	「研修編成ワーキング・グループ」(第4回)
2. 日時	平成25年1月30日(水)午後1時～午後2時30分
3. 議案	1. 協会員における社内研修の充実等に向けた対応について 2. 資格更新研修の充実に向けた対応等について 3. その他
4. 主な内容	1. 協会員における社内研修の充実等に向けた対応について 事務局より、資料1に基づき、「協会員における社内研修の充実等に向けた対応」について説明が行われ、大要以下のとおり意見交換が行われた。 本件については、今後、本WGにおいて「役職員に対する研修の考え方」を取りまとめることとした。 また、社内研修用教材となるDVDについては、「全社員が受講できる職業倫理等に関するテーマ」及び「リテール営業を中心とした倫理・コンプライアンスに関するテーマ」について制作することとした。 (主な意見等) ・職業倫理・コンプライアンスに関する社内研修は、協会員の規模・業容等の実情等に応じ、多くの協会員において取り組んでいることから、その具体的内容まで規則で定め画一的な対応が求められるとかえって研修が形骸化する可能性があることから、自主規制規則において規定することは難しいのではないかと。 ・協会員が定める倫理コードの実効性を保持し、職業倫理の醸成及びコンプライアンス意識の向上を図る措置の一つとして、社内研修を実施する際の参考に資するための対応方法等を例示することとしたらどうか。 ⇒研修を実施する際の参考に資するための対応方法として、「役職員に対する研修の考え方(案)」を提示することとしたい。(事務局) ・社内研修用教材となるDVDの制作については、社内研修で活用できるよう資料等を含めて工夫した内容にしてもらいたい。また、長時間のものを視聴することは現実的ではないことを踏まえて制作してもらいたい。 ⇒社内研修の講師役が活用できるような研修の手引きを別途作成することや、受講者用資料の作成については工夫していきたい。更にDVDの収録時間については、講義及び受講者自身が考える時間と併せて1時間程度にすることとしたい。(事務局) ・制作が一度きりで終わることのないように、様々な形式の研修コンテンツの制作については長期的に取り組んでももらいたい。 ⇒制作したDVDを協会員がどの程度利用するかについて、また、当該DVDが満足度の高い内容となっているか等について検証の上で本数を増やしていく、内容を充実させていくこととしたい。(事務局) 2. 資格更新研修の充実に向けた対応等について 事務局より、資料2に基づき、「資格更新研修のコンテンツ」の改訂方針案等について説明が行われ、大要以下のとおり意見交換が行われた。 本件については、引き続き、WGメンバーからの意見を踏まえ、次回のWGにおいて、一定の方向性を出すこととした。

	(主な意見等) ・改訂方針案として、「顧客ニーズの的確な把握の必要性について」を追加する とあるが、「適合性の原則」を開設すれば足りるのではないか。 ⇒外務員は、顧客の要望を踏まえ投資目的・リスク許容度を汲み取り、その うえで、その顧客に適合する商品を社として紹介することとなる。まずは、投 資目的・リスク許容度としてどのようなものがあるかをWGメンバーから意見 を伺い、検討することとしたい。(事務局)
5. その他	※本議事要旨は暫定版であり、今後、内容が一部変更される可能性があります。
6. 本件に関する問い合わせ先	研修部（03-3667-8552）